

## 令和5年度 第1回向日市地域包括支援センター運営協議会要点録

1 日 時：令和5年10月3日（火） 午後4時から午後5時まで

2 場 所：向日市役所本館 3階 第7会議室

3 出席者

（出席）清家委員、桑委員、乾委員、岡田委員、大森委員

（以上5名）

（欠席）大橋委員、堀委員、岡本委員、高桑委員

（事務局）山田部長、安田副部長、小畑課長、小澤主席係長、勝川主席係長、内海係長  
木村北地域包括支援センター長、木下中地域包括支援センター長、  
重田南地域包括支援センター長

（傍聴者）なし

4 議 事

（1）令和4年度向日市地域包括支援センター事業実績報告について

（2）令和5年度向日市地域包括支援センター事業方針について

5 資 料

資料1「令和4年度向日市地域包括支援センター事業実績報告」

資料2「令和5年度向日市地域包括支援センター事業方針」

参考資料「向日市地域包括支援センター運営基本方針」

6 内 容

議事(1) 令和4年度向日市地域包括支援センター事業実績報告について

- ・事務局から、令和4年度の地域包括支援センター事業実績（相談実績やケアプラン作成数、出前講座、地域ケア会議など）について説明を行った。

（資料1）

### 【質疑回答・意見要旨】

委 員 介護関係機関からの相談件数が圧倒的に多いが、高齢者本人は相談に来られているのか。あと、コロナが蔓延していた頃は建物へ入ることが制限されていたが、それが緩和されて、来所される方は増えているか。

事務局 併設されている居宅介護支援事業所から相談に来られる介護関係機関の方が多い。コロナ禍でも来所ないわけでもなく、併設事業所からの来所がある分、介護

関係機関からの相談が比較的多くなっている。

委員 来所に関して各地域包括支援センターで数字の差が出る理由は。

事務局 各センターの立地や、北と南は事業所が、中は福祉会館が併設していることなどによるものと考えている。

委員 相談件数で、警察は0になっているものもある。認知症高齢者の捜索を警察と一緒に対策している事業もあると思う。警察との連携はどうなっているのか。

事務局 相談件数には最初に相談してきたところを載せている。その後、ケースの内容に応じて、警察も含めた様々な関係機関と協力し支援をしていくので、載っている件数以外にも警察と連携している。また、見守りSOSネットワーク事業を実施しており警察も各センターも含めて関係機関と連絡を取り合っている。

委員 センターの職員が大変な努力をして、関係機関と連携しながら相談業務をしていることが数字で見えるようにすべき。

委員 数字の内容や背景について説明が必要である。

事務局 検討する。

委員 プラン作成数で、センター作成分で継続のものがかなりあるが、区分変更なしで予防給付のままのものがこれだけ多くあるということか。要介護に上げていくものが多いんじゃないかと思っているが。

事務局 予防給付で区分変更なしのものは件数としては多数あると認識している。数字が手元にないが、区分変更も多数ある。

委員 介護が必要で、お金も少ない人のケースが多くあるが、しっかりした実績のある成年後見人によるフォローや生活保護制度の活用という視点が重要。

事務局 介護保険や高齢者支援という範囲だけでなく、生活保護や生活困窮支援ということも含めて、関係部署で連携しながら取り組んでいる。

議事(2)令和5年度向日市地域包括支援センター事業方針について

・事務局から向日市地域包括支援センター事業方針について説明を行った。

#### 【質疑回答・意見要旨】

委員 前年度と比べて変更したところはあるか。

事務局 重点的な取り組みに関しては重要性は変わらないので、引き続き取り組んでいく。

委員 健康推進課で高齢者を対象とした健康状態を確認する事業を実施しており、地域包括支援センターとも連携していきたい。

事務局 保健事業と介護予防の一体的な事業も取り組んでおり、今後も情報共有や意見交換を密にしていきたい。